

クサギの花の受粉に関与しているとはいえそうもない。また、アオスジアゲハ *Graphium sarpedon nipponum* が何回も花の近くを通ったが、1 回も花に止らず、また関心もしめさなかった。これらの観察の結果、この調査地で記録できた 13 種の昆虫のうち蛾 4 種オオスカシバ・ホシホウジャク・クロホウジャク・コスズメと蝶のクロアゲハが主な来訪者であり、ホシホウジャクをのぞく残りの 3 種のスズメガ科の昆虫がクサギの花の主要な花粉媒介者であることがわかった。こうして、クサギの花は形態上からも、また花粉媒介者の構成からも蛾媒花であることがわかった。

文 献

- 1) Faegri, K. & van der Pijil, L. 1966. The principles of pollination ecology.
- 2) Percival, M. S. 1965. Floral biology.
- 3) クーグレル, H. 1966. 花生態学 (広川書店)

Summary

The pollination ecology of *Clerodendron trichotomum* was studied at Nerima-ku, Tokyo.

1. The flowers of *C. trichotomum* were protandrous. They were observed to be phalaenophilous flowers by the following features: namely, possessing a horizontal position, opening in the evening, giving out a strong and sweet perfume and having nearly white corollas whose limbs were deeply divided and nectar was deeply hidden in the long tubes.

2. Insects who visited the flowers and their behaviors were shown on Table 1. The main effective pollinators of the flowers were *Theretra japonica*, *Macroglossum saga* (nocturnal species) and *Cephonodes hylas* (diurnal species).

○ *Leontodon nudicaulis* 東京八王子に帰化 (芹沢俊介) Shunsuke SERIZAWA: *Leontodon nudicaulis* naturalized in Japan

1970 年 8 月に、東京都八王子市めじろ台の宅地造成地で、見られないキク科の植物を採集した。最近必要があって調べてみたところ、ヨーロッパ原産の *Leontodon nudicaulis* (L.) Banks である事がわかった。本種は、外側の小花の冠毛が著しく短くなる点で、他の同属の種類から容易に区別される。世界各地に帰化している種類であるが、日本ではまだ記録がないらしい。めじろ台では、土留工事用の種子に混って入ってきたものと思われる。標本は国立科学博物館に納めておく、なお、現地ではその後土手を改修したので、見られなくなった。(東京教育大学理学部植物学教室)